

# 畜産酪農懇談会・第2回セミナー 次第

日 時:平成31年3月18日(月)13:00~16:00

主 催:公益社団法人 福島相双復興推進機構

後 援:葛尾村、福島県、農林水産省東北農政局、

公益社団法人福島県畜産振興協会、JA福島中央会

場 所:葛尾村村民会館(住所:双葉郡葛尾村大字落合字落合 16)

<お車でお越しの際は、村民会館の道路を挟んだ向かいにあります「葛尾村復興交流館  
あぜりあ」(葛尾村大字落合字落合 20-1)の駐車場をご利用ください>

※入場無料・申込不要、当日の入退場自由

## 【 次 第 】

1. 開会の挨拶 福井 邦頭 (公社)福島相双復興推進機構 理事長  
13:00~13:05〔5分〕

## 2. セミナー

座長挨拶: 内藤 廣信 氏 (一社)全国肉用牛振興基金協会 前参与  
13:05~13:10〔5分〕

### (1)講演

#### ①「(公社)福島相双復興推進機構(官民合同チーム)

##### 営農再開グループの活動報告」

中東 一 営農再開グループ長 13:10~13:30〔20分〕

◎当機構営農再開グループの取組全般、畜産支援の状況や「畜産酪農懇談会第1回セミナー」の概要、耕畜連携等実際の支援事例のご紹介。

#### ②相双地域の畜産事業者の取組紹介 13:30~14:00〔30分〕

##### 「葛尾村の若手肉用牛繁殖経営の取組み」

◎地元葛尾村の畜産の状況や若手生産者が復興再生に向けて行っている取組みをご自身も交えて紹介いただきます。

#### ③全国の先進的な取組紹介 14:00~14:30〔30分〕

##### 「省力・超低コスト子牛生産を実現した肉用牛繁殖経営技術の実際」

永松 英治 氏(大分県豊後高田市)

◎茶園経営を後継者に譲り、牛飼い素人が新規参入で肉用牛を導入し、県・市・JA等、多くの関係者の支援のもとに日本ではトップクラスの超低コスト子牛生産を実現した経営と技術を紹介します。

## (2) 相双地域の畜産事業者等からの発言及び意見交換会(トークセッション)

14:30～15:30〔60分〕

◎座長、講師、会場の皆様との意見交換。

※復興現場の状況と先進事例の紹介を受け、今後に繋がる経営面・技術面について、自由に意見交換いただきます。

※登壇者・会場の皆様のほか、萬田富治・福島相双復興推進機構技術参与と、益子農林・益子光洋様(第1回セミナー演題「ひと・ウシ・田んぼで町おこし!!」)にもご参加いただきます。

## 3. 閉会の挨拶

福井 邦顕 (公社) 福島相双復興推進機構 理事長

15:30～15:35〔5分〕

## 4. 参加者間の交流

15:35～16:00〔25分〕

◎講師や会場の皆様との自由な交流時間

(※意見交換のお時間に、ご質問できなかつた場合などには、個別に講師への質問ができる時間ですので、ぜひともこの時間をご活用ください。)

## 【問い合わせ先(事務局)】

公益社団法人 福島相双復興推進機構 (福島相双復興官民合同チーム)

営農再開グループ 調整課 畜産チーム

住所：〒960-8031

福島県福島市栄町6番6号 NBF ユニックスビル4F

電話：024-502-1115 (代表)

## 畜産酪農懇談会 第2回セミナー 講演者等プロフィール

## 【総合座長】

## ○ 内藤 廣信（ないとう ひろのぶ）氏

大学卒業後、社団法人中央畜産会入社。同会指導部長、同会常務理事を歴任。原子力損害賠償紛争審査会専門委員、食料・農業・農村政策審議会臨時委員、農林水産祭専門委員、一般社団法人全国肉用牛振興基金協会事務局長等を経て、平成30年3月まで同協会参与。

※「畜産酪農懇談会第1回セミナー」（平成30年6月19日於南相馬市）座長。

## 【共同座長（トークセッション）】

## ○ 萬田 富治（まんだ とみはる）氏

[公益社団法人福島相双復興推進機構 技術参与]

農林水産省草地試験場主任研究官（那須）、同北海道農業試験場（芽室・札幌）、同中国農業試験場（島根県大田市）、同畜産試験場（つくば）、農研機構畜産草地研究所副所長（那須）、北里大学獣医学部教授（十和田）・附属フィールドサイエンスセンター長（八雲）、公益財団法人生物科学安全研究所理事長（相模原）等を経て、現在、公益社団法人福島相双推進機構技術参与、一般財団法人生物科学安全研究所顧問。

試験場や大学で教育研究を続けてきた日本における草地畜産のパイオニア、全国で先導的な経営に取り組む生産者と幅広く交流、現場に学ぶ信条。

## 【講師（先進事例紹介）】

## ○ 永松 英治（ながまつ えいじ）氏

[永松牧場、(有)富貴茶園代表取締役（和牛繁殖、茶葉生産）・大分県豊後高田市] 茶園を営みながら、大分県の「レンタカウ制度」で借りた3頭の繁殖牛から牛飼いを開始。肉用牛を飼養した経験がない中で、県・市・JA等、多くの関係者の支援のもとに、畜舎・機械にお金をかけず、従来の飼い方に縛られない独創的な飼育法で日本トップクラスの超低コスト子牛生産を実現。

荒廃した耕作放棄地の再生、バヒアグラスとWCS利用による耕畜連携、従順な子牛馴致法の実践、簡易な電気牧柵の活用等の実績に加えて、後継者養成への積極的な取り組みについては、肉用牛経営における国内有数の優良事例として高く評価されている。

## 「畜産酪農懇談会」について

### 1. 「畜産酪農懇談会」活動を展開します(趣旨)

- 相双地域においては、震災前から畜産・酪農が農業の基幹的な地位を占めており、その再開が農業復興の重要課題。
- この地域では、畜産農家同士の結びつきに加え耕種農家との協力で循環型の農業／耕畜連携が行われてきたが震災で途切れ、その回復が急務。
- したがって、地域農業の再開のためにも、畜産・酪農の再生は不可欠。
- 畜産・酪農の担い手には、飼料の確保、ふん尿処理など様々な解決すべき共通する課題があり、このため、こうした課題を共有し、その解決に向けて先進事例を互いに学び合うなど、ネットワークの場として、「畜産酪農懇談会」を開催します。

### 2. 「畜産酪農懇談会」の取組内容(予定)

以下のような取組を、月一回程度、行います。

- ・福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)からの畜産酪農関係の情報提供。
- ・県内外の土地利用型・資源循環型畜産酪農の優良・先進事例の見学ツアー。
- ・有識者を交えたセミナー、シンポジウム 等。

※福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)の技術参与(畜産酪農)である萬田富治先生のご指導をいただきながら企画します。

### 3. 「畜産酪農懇談会」への参加

- ・相双地域で、畜産酪農の再開に取り組まれている／あるいは取り組もうとされている皆様の参加をお待ちしております(さらに、畜産関係機関の皆様、耕畜連携している耕作農家の皆様等のご参加も歓迎いたします)。
- ・メンバー登録は無料です。
- ・メンバー登録しても、活動／参加義務はなく、ご予約のあう企画にお気軽にご参加ください。

### 4. その他

- ・福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)営農再開グループ調整課・畜産チームが事務局をつとめます。
- ・既に、地域ごとの畜産勉強会の単位などで同様の取組を行っている場合がありますが、地域の枠を超えた勉強・交流・マッチングの機会として企画します。

以上

---

※今回のセミナーは、「畜産酪農懇談会」活動(ネットワーク活動)の取組のひとつとなります。